

長久手公共交通かわら版

のりゃあせ

長久手公共交通かわら版「のりゃあせ」は、市内公共交通の活性化を目指して、市民記者が中心となって作成している情報紙です。

第9号では、愛知淑徳大学上原ゼミのリリモ活性化に向けた取り組みや、公共交通応援隊が中心となって作成したN-バス応援ソングの紹介を行います。

Q1: 上原ゼミがリリモ活性化に向けた活動をはじめたきっかけは？

平成25年に長久手市役所にインターンシップで職場体験したゼミの先輩が、リリモ活性化の提案を市役所へ行ったことがきっかけです。


これまで就活前の学生を対象とした「学生と企業の交流会」や、リリモの駅で飲食物や雑貨などを販売する「リリモ駅ナカショップ」などをじぶんたちで企画・実行してきました。

イベント時には参加者に対し、リリモでの来場を呼びかけ、リリモ利用者の増加を図りました。



N-バス応援ソング「だいすきN-バス！」ができました！！

「親子でEnjoy! 公共交通」に参加した市民のみなさまに、N-バスに対する想いを描いてもらい、N-バス応援ソング「だいすきN-バス！」ができました。
市HPにて公開しておりますので、是非お聞きください。



N-バス 応援ソング「だいすきN-バス！」

作詞：公共交通応援隊
作曲：ふじたゆみ

生まれた時からN-バス育ち
親子に優しい運転手さん

バスに乗ったらウトウトしちゃう
今日はばあばに会いに行くよ

★ ワクワク (N-バス) ドキドキ (N-バス)
カラフル N-バス 大好き
いろんなところへ GO! GO! GO! GO! N-バス


まちの中も 田んぼの中も
お家の前を通っているよ
いつも窓から眺めるN-バス
ぼくが手を振る バスはニッコリ


★ くりかえし

今日も会えたね! おしゃべりはずむ
私は買い物 あなたはプール
御旗山 こども塾 ほとぎの里
歴史と緑のN-バスツアー

★ くりかえし

長久手市 HP
QRコード





～地域公共交通会議からのお知らせ～
公共交通応援隊メンバーの募集

公共交通応援隊キッズイベントグループでは、子ども向けの公共交通にまつわるイベントの開催や、N-バス応援ソングを作成するなど、市内公共交通の利用促進に向けた取り組みをしています。

現在メンバーを大募集しています。シニア世代の隊員や、小学生の隊員も一緒に頑張っています。公共交通に興味のある方、子どもが好きな方、イベントを企画してみたい方など、どなたでも大歓迎です。

詳細は下記にお問い合わせをお願いします。(※市HPでも確認いただけます。)

長久手市地域公共交通会議 (事務局: 長久手市経営企画課 0561-56-0600)

問 合 せ

発行: 長久手市地域公共交通会議 事務局 長久手市長公室経営企画課

〒480-1196 長久手市岩作城の内 60 番地 1

TEL 0561-56-0600(直通) FAX 0561-63-2100 <http://www.city.nagakute.lg.jp/>

発行月: 平成 30 年 3 月

長久手市 HP
QRコード



Q2: 平成29年度はどんな取り組みを実施したの？

これまで、リニモの駅内で飲食物等の販売を行う「リニモ駅ナカショップ」や、モリコロパーク内で行う「学生と企業との交流会」を実施してきました。平成29年はこれまで実施してきた「学生と企業との交流会」を2月に実施したほか、9月には、イオンモール長久手さんと連携し、初の企画となる「学生と地域の」ショップによるスイーツフェスティバル」を開催しました。



実施したイベントについて教えてください。まずは「学生と企業との交流会」から

Q3: 参加者の反応はどうでしたか？



これまで上原ゼミで実施してきた「学生と企業との交流会」から工夫を凝らし、有名就職情報サイトの方を招き、就職活動を進める上で役立つことを講義していただきました。

学生の反応は良く、これから始まる就職活動に活かしたいなどの声が数多く聞かれました。

また、様々な分野の企業に参加いただいたことで、参加者から就職先の選択肢が広がったという声もありました。

参加企業：金融、情報、サービス、旅行、陸運、公務員など全16社

Q4: 力を入れた点は？

最も力を入れたのは、イベントの周知活動です。これまで、継続して同様のイベントを実施してきましたが、学生の参加者が少ないのが課題のひとつでした。そこで今回は、周知方法を変え、長久手にあるリニモ沿線場の各大学に直接チラシを配りに行きました。地道な活動の結果、当日は264名の学生に来ていただくことができました。これまでの倍近くの参加者に来ていただいたことは自信になりました。

次は、「学生と地域のショップによるスイーツフェスティバル」について

Q5: 何故スイーツフェスティバルを企画したのか？

参加者が多い方がリニモや地域の活性化につながると考え、集客力のあるイベントを調べたところ、音楽フェスや、スイーツなどの飲食物を扱ったイベントに集客力があることが分かりました。そこで、この2つをミックスしてみよう！ということでアカペラとスイーツをテーマにしたスイーツフェスティバルを企画しました。

Q6: アカペラとは？



アカペラとは、少人数グループでの無伴奏合唱のことです。愛知淑徳大学のアカペラサークルで活動しているメンバーがたまたま上原ゼミにいたので、出演の交渉ができました。

また、他大学のアカペラサークルとの結びつきも強いいため、リニモ沿線以外の大学にも出演いただきました。

参加大学：中京大学・名古屋外語大学・南山大学・名城大学
※五十音順

Q7: 実際にイベントはどうでしたか？

アカペラを聞きながら、スイーツを食べるといった斬新な取り組みでしたが、アカペラ参加団体が多かったこともあり、賑わいは創出できたと感じています。ただ、アカペラの演奏間で間が空く間に、来場者が手持ちぶさたになるなどの課題もありました。

イベント自体には、可能性を感じているので、後輩達に引き継ぎ、来年は内容を改善した新しいスイーツフェスティバルをお見せしたいと考えています。



Q8: リニモ活性化事業を通して感じたことは？



イベントをひとつ開催するにも、企業の方や、リニモを運行している愛知高速交通(株)の方などとのメールのやりとりなど、これまで経験したことのないことで苦労の連続でした。

先生に相談したり、市役所の担当者の方に相談する中で、一歩ずつ前に進んで行ったという感じです。

ただ、色んな取り組みの中で、公共交通の利用促進に貢献しているんだという実感や、自分達が成長していると感じました。

最後に、リニモ活性化事業の準備などでリニモに乗る機会が増えましたが、毎回リニモから見る景色の美しさや、浮上して走っていることの面白さを感じます。

こんな面白いリニモのことを、少しでも多くの人に知ってもらえるように、今後も取り組みを継続していきたいです。